

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年9月30日 (2回目)
目標年度	令和17年3月31日
市町村名 (市町村コード)	南九州市 462233
地域名 (地域内農業集落名)	3工区地域 (上出上・上出中・上出下・山下・小長田・馬渡・矢越・吉崎・福留・石垣前・石垣後)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	219.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	189.6 ha
② 田の面積	1.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	217.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	99.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	64.8 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・地区の住民の平均年齢は56.3歳で65歳以上の高齢化率は46.75%(令和6年3月31日現在)で高齢化が進行している。
・現在の耕作者は高齢で後継者がいない者が多く、離農後の農地が荒廃しないよう新たな農地の受け手や既存の担い手への農地の集約化が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

現状では甘藷・キャベツ・イチゴ・人参・大根・茶を耕作しており、将来においても現状の作物を耕作していく予定である。新たな品目への取組は予定していない。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
貸主への小作料の振り込み等が省力化でき、また、小作料の未払がない農地バンクを経由する農地中間管理事業をさらに進め、担い手農家への集積・集約化を図り、農作業の効率化に努める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	45.3	%	将来の目標とする集積率
			72.4 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
区画整理済地区を主体に担い手農家への集積・集約化を進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手農家への集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、農地バンクを通じた貸し借りを進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを経由する貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員、農地利用最適化推進委員及び自治会長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
だいが整備されているが、大型機械を使用する畜産農家等には狭小な圃場もあるため、集約に向けて畦畔除去等の取組が必要である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
後継者のいない経営体への対策として、各種協議会や事業を活用し、事業継承に向けた取り組みや離農後の農地の担い手への集約に努める。広く農業を担う者を確保するため、必要な情報を提供する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
サービス事業体等への農作業委託の取組みの予定はない

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☒ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシ、アナグマ、カラス等の被害があるが、捕獲は難しい。狩猟免許取得者を増やすため講習会を実施したい。
②④海外需要等に応じた有機栽培や輸出国向け栽培への転換が必要である。
③スマート農機等の導入を図り省力化を推進し、人手不足に対応する必要がある。
⑥燃料費等の高騰により生産農家の経営を圧迫している。
⑦多面的機能支払交付金を利用し保全・管理等を実施する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			別紙のとおり			ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		119.6 ha	0 ha		184.5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

	番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				